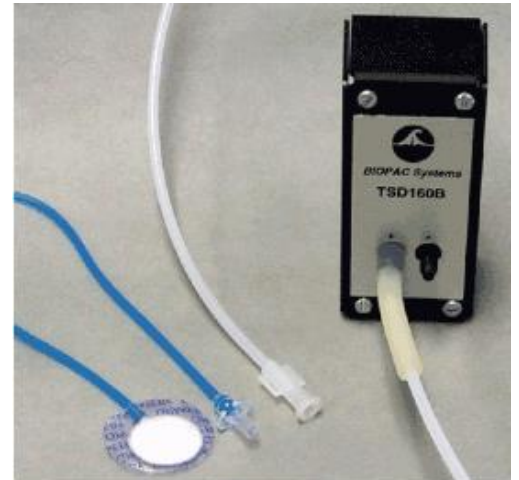


圧力トランスデューサ&補修センサ

TSD110 圧力トランスデューサは以下のものを測定するために使用することができます：

- 心臓の近くや、指などの脈拍測定部位に取付けた際のパルス
- 非侵襲の呼吸一標準的な使用方法では小動物からヒトで使用できます。動物のみ MRI でも使用できます。*
- パーキンソン病評価における弱い押圧（指をつまむなど）
- 表情（例：頬骨上のセンサを用いて笑顔/眉をひそめる）
- 歯を噛み合わせた際の圧力
- まばたきの反応

トランスデューサの構成は、圧力パッドと延長チューブ、トランスデューサが含まれます。圧力パッドとトランスデューサを接続するための延長チューブは雄型ルアーコネクタです。圧力感知パッドは繰り返し使用できますが、長期間の使用などでセンサが故障した場合は交換が必要となります。



TSD110 ±12.5cm H₂O 差動圧力トランスデューサ (TSD160B) と、圧力パッド (RX110) とチューブ (AFT30/1.8m) で構成されています。インターフェースは DA100C と MP160/MP150 システムです。

RX110 この交換用の部品は、延長チューブやトランスデューサを除く圧力パッドのみです。各 TSD110 圧力トランスデューサには RX110 センサが 1 つ含まれています。

パッド：直径 20mm×厚さ 3.18mm

チューブ：内径 1.6mm、直径 2.2mm、長さ 1m、雄型ルアーコネクタ

TSD110-MRI ±12.5cm H₂O 差動圧力トランスデューサ (TSD160B) と、圧力パッド (RX110-MRI)、延長チューブ (AFT30-XL×2=11m) を含みます。インターフェースは DA100C と MP160/MP150 システムです。DA100C に接続する差動圧力トランスデューサを MRI 制御室に設置します。MRI 制御室と MRI チャンバ室の間で生じる大気圧の変化（制御室のドアが開くなど）を抑えるには、導波管を介して 2 つの AFT30-XL で TSD160B と圧力パッドをつなげます。AFT30-XL チューブでは、最大 50 ミリ秒のディレイが生じます。

*TSD110-MRI は、ヒトの呼吸用には推奨されていません；代わりに TSD221-MRI をご参照ください。

MRI 利用：MR 適合

TSD110-MRI トランスデューサ構成 チューブ：ポリエチレン（ポリウレタン）、RX110-MRI センサ：発泡ポリエチレンとプラスチック

RX110-MRI この部品は、延長チューブやトランスデューサを除く圧力パッドのみです。TSD110-MRI 圧力トランスデューサに RX110-MRI センサが 1 つ含まれています。RX110-MRI 圧力パッドは金属部品を含んでいないので、MRI ボアの内部で使用することが可能です。

パッド：直径 20mm×厚さ 3.18mm

センサチューブ：内径 1.6mm、直径 2.2mm、1m、ルアー雄型

MRI 利用：MR 適合

RX110-MRI 素子：発泡ポリエチレンとプラスチック